

令和8年熊本地震に係る 第12回政府非常災害現地対策本部会議 第19回災害対策本部会議

【教育委員会】

R8.8.9（日）14：00時点

被害状況

【人的被害】（熊本市分を含む） ※学校活動中の被害に関わらず人数を計上

- 学校 92名（児童生徒 85名 教職員 7名）
- 社会教育施設 10名（利用者 8名 職員 2名）

【物的被害】（熊本市分を含む）

- 学校 354校（県立61校、市町村立293校） ※学校施設被害一覧は割愛
 - ・宇土中・宇土高：普通教室9室、特別教室3室が入る第3棟（3F）の損傷が激しく使用不能
 - ・八代工業高校：校舎内ガラス破損多数 ・松橋西支援学校：地割れ、柱の割れ
 - ・熊本市立城西小学校：体育館金物落下 ・八代市立龍峯小学校：グラウンド地割れ、校舎損傷 ・甲佐町立乙女小学校：建物のひび・ずれ 等
- 学校関係施設 76施設（県立10施設、市町村立66施設）
 - ・給食センター建物の壁にクラック 教職員住宅の瓦落下 等
- 文化財 197施設（登録件数）
 - ・熊本城：石垣崩落 ・八代城跡：石垣崩落並びに石塔倒壊 ・人吉城跡：土砂崩れ ・松浜軒：損壊 等
- 社会教育施設 62施設
 - ・豊野少年自然の家：ガラス割れ、水道管破裂
 - ・氷川町文化センター：柱のひび割れ、タイル・石積のズレ ・八代市立図書館：建物のひび・ずれ 等
- 社会体育施設 61施設
 - ・熊本県陸上競技場：支柱土台破損、天井コンクリ片落下、藤崎台県営野球場：グラウンドにひび ・県営八代運動公園：陸上競技場の液状化
 - ・熊本甲佐総合運動公園：園路被災（噴砂） 等

【学校再開に向けて】

- 学校給食の確保
 - ・パン・牛乳：新学期から全県において確保できる見込み
 - ・調理関係：調理場については、学校給食の再開に向けた調査を実施
- 児童生徒・教職員の「心のケア」について
 - ・スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）等も含めた支援体制整備に着手
- 新学期に向けた学校安全確保について
 - ・文部科学省と熊本県の合同チームで行っていた学校施設の応急危険度判定を8月4日から3班体制、さらに8月5日から6班体制に拡充
 - ・これにより、県立学校（22校）、14市町村（140校）及び私立学校（3校）について、8月8日に完了し、結果について取りまとめ中
- 被災地におけるボランティア活動を促進するため、県内の教職員を対象とするボランティア休暇の取扱通知を发出
- 被災地域の県立学校と市町村立学校に対し、学校再開に向け各校がクリアすべき課題を把握するための調査を実施中

【子どもの居場所・学習スペースの確保】

- 避難のため在籍校に通学できない小中高生に対し、近隣の県立高校内に学習スペースを提供予定
- 国立、県立の青少年教育施設等が連携して、NPO法人等が設置した子どもの居場所に来ている子ども達に体験活動等を提供する取り組みを開始

【文化財復旧対応】

- 未指定文化財等の被害状況把握及び保護のため文化財レスキューを実施
 - ・国指定名勝「松浜軒」の解体部分から出てきた美術工芸品を避難させるための文化財レスキューを実施中
 - ・熊本城の被災状況について文化庁、国土交通省による現地確認を実施済
- 被災した歴史的建造物・土木構造物の被害状況の把握および保護のための文化財ドクター事業の発動について文化庁に要請（8/7）
- 被災文化財の復旧及び被災市町村との支援を円滑に進めるため文化財復旧チームを設置
宇城市、八代市、氷川町の文化財被害状況について県による確認作業を実施中

今後の対応

- 市町教育委員会への学校支援チームの派遣状況
八代市：岡山県（8/4～） 宇城市：三重県（8/5～）・兵庫県（8/6～） 氷川町：本県職員（7/31～）
- 危険度判定士（文科省からの派遣）による学校建物の安全確認中
- 教育庁HPへの専用ページ開設
- 引き続き、人的被害の安否確認及び物的被害の状況等の確認



宇土中学・高校（第3棟）



松橋西支援学校



八代市立龍峯小学校



甲佐町立乙女小学校